

**ShinMaywa**

**TRD510**

**両端端子打機**

**電線1本当たりの加工費低減に貢献**



**デジタルクリンパ**

**NEW  
MODEL**

**最大5,000本/時の業界最高クラスの加工能力実現**

**省スペース化により、生産性を向上**

## ■特長

### 加工能力向上

- 高速高精度で実績のあるTR500のプラットフォームを採用。
- 最大加工能力:5,000本/時の高速加工を実現。

#### 【最大加工能力】

11%向上 ※従来機「TRD301」比

TRD510

Max.5,000本/時

TRD301 ↑ Max.4,500本/時

### 加工精度向上

- 測長ユニットに、ベルトフィード機構を採用。  
電線へのダメージを軽減し、細線加工にも対応。
- フィードバック補正制御により切断長計測精度が向上。
- カッタユニットに、最新サーボモーターを搭載。  
高い制御機能により、高精度切断を実現。

### 省スペース化

- ベルトフィード機構を採用し、省スペース化を実現。
- 設置占有面積:2.6m<sup>2</sup>→2.0m<sup>2</sup>へ縮小。
- 単位面積当たり加工本数:1,730本→2,500本へ増加。

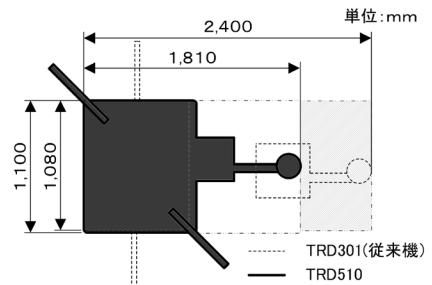
#### 【設置占有面積】

23%縮小

#### 【1m<sup>2</sup>当たり加工本数】

44%増加

※従来機「TRD301」比



### 操作・作業性向上

- デジタルクリンパを標準装備。  
数値制御により圧着条件出し作業を簡略化。
- 操作手順に合わせたシンプルな画面構成。
- ツールレスで交換可能なワンタッチノズルを採用。
- ボビンフィーダ(オプション)設置で電線モツレの発生を抑制。



ベルトフィード機構



カッタユニット



操作画面



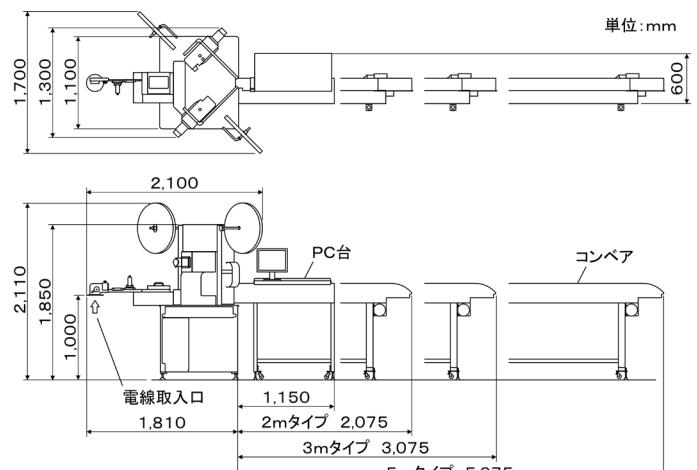
ボビンフィーダ

## ■標準仕様

形 式	TRD510
最大加工能力 (両端子圧着時)	5,000本/時(切断長: 100mm) 4,200本/時(切断長: 500mm) 3,750本/時(切断長: 1,000mm)
加工電線	0.13~1.25mm <sup>2</sup> / AWG26~18 (最大外径φ3.0mm) ※1
切断長 /ストリップ長	50~20,000mm /1~16mm
電線送り	ベルトフィード機構 実用標準速度:6m/s、 最大10m/sまで可能
圧着機	デジタルクリンパ 19.6kN
標準装備	ストリップセンサ、端子有無センサ、ジョイントセンサ、電線過負荷センサ、電線滑り検知、操作用パソコン、安全カバ 端子圧着判定装置(TCM)、バットワイヤチョッパー
駆動モーター	全軸ACサーボモーター
必要エア/消費電力	0.5 MPa 150 ℥/min (ANR) /最大 約0.4 kWh
電源	三相 AC200V ±10%以内(50/60Hz)
機械寸法	幅1,100×高さ1,850×奥行1,810 (mm) 幅1,700×高さ2,110×奥行2,100 (mm)※ ※ φ650mmの端子リールを含む
本体質量	約690kg

※1 屈曲性の良い(軟らかい)電線は加工できない場合があります。

## ■外形寸法図



※コンベアはオプションです。

●本カタログの仕様、寸法および外観は予告なく変更することがあります。

●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。